

令和4年 第4回 大仙市議会定例会

# 市 政 報 告

令和4年11月25日

大仙市長 老 松 博 行

令和4年第4回大仙市議会定例会にあたり、諸般の状況について申し上げます。

はじめに、「第145回秋田県種苗交換会」についてであります。

10月29日から7日間の日程で開催された「第145回秋田県種苗交換会」につきましては、感染防止対策に万全を期した上で、コロナ禍前の規模で開催し、目標の80万人を大きく上回る91万人の皆様からご来場いただくなど、盛会裏に閉幕しております。

大仙市としては初めての開催となった今回の種苗交換会では、「大輪の如く 大仙に轟け 大地の祈り」をキャッチフレーズに掲げ、大曲体育館を主会場に「農工商フェア」や「音と踊りフェスタ」、協賛事業として3年ぶりとなる「農業機械化ショー」、東京会場とリモートで結んだ秋田米新品種サキホコレのデビューイベントなど、魅力あふれる多彩なイベントが催され、ご来場いただいた多くの皆様から「農業の大祭典」を大いに楽しんでいただきました。秋田県農業の強みや本市の魅力を広く発信し、地域経済の活性化にも大きく貢献したものと確信しており、改めて関係者の皆様に厚く御礼を申し上げます。

最終日の閉会式では、広域団地化による作業や経営の効率化、加工事業による周年農業への取組、スマート農業への積極的な取組、後継者の確保育成など、秋田県農業の振興に向けたこれまでの取組が評価され、

協和地域の「農事組合法人たねっこ」が、本交換会で唯一の農業功労者として表彰されております。また、出品された農産物1,350点のうち、水稻、大豆、トマト、野菜加工品の4部門で本市の農産物が農林水産大臣賞を受賞したほか、57の農業者、農業団体が入賞を果たしております。受賞された皆様に改めて祝意と敬意を表する次第であります。

農業は今、担い手の高齢化や後継者不足、コメ需要の低迷に加え、足下では肥料や資材価格の高騰が続くなど、取り巻く環境は一段と厳しさを増しております。こうした中、本市で開催された種苗交換会は、秋田県農業の大きな可能性を示し、活力ある農業の未来を予感させる大変意義深い交換会であったと思っております。今般の成功をひとつの契機に、持続可能で力強い大仙農業の確立、そして農業を核とした地域全体の活性化に向けた取組を加速してまいります。

次に、「大曲の花火」についてであります。

コロナ禍で延期を余儀なくされていた「第94回全国花火競技大会」が、8月27日、全国から訪れた数十万人の花火ファンが観覧する中、新たなスタートを切る記念すべき大会として盛大に開催されました。当日はあいにくの天候となりましたが、3年ぶりの「大曲の花火」に多くの皆様から喜びの声を頂戴したところであり、常に挑戦し続ける「大曲の花火」の姿勢と日本が誇る花火芸術にのせた世界平和のメッセ

ージを感じていただけたものと考えております。

今大会は、コロナ禍における初めての開催となり、観覧席レイアウトの見直しをはじめ、様々な感染症対策を講じた上での開催となりましたが、大きな混乱もなく無事終えることができました。コロナ禍にあっても、変わらず「大曲の花火」を応援していただいた全国のファンの皆様、多大なるご支援をいただいた関係機関の皆様、全国からご参加いただいた花火師の皆様に、心から感謝を申し上げます。

また、10月1日には、2年ぶりとなる「大曲の花火・秋の章」が開催されております。地元若手花火師の競演や大仙市の将来を担う子どもたちがデザインした花火のほか、「大曲の花火憲章」を体現した花火など、「大曲の花火」の未来を示す多様性あふれるプログラムが、秋の夜空を色鮮やかに染め上げております。

多くの皆様に支えられ、晴れて再始動を迎えた「大曲の花火」ではありますが、そのご支援に感謝する場として、11月15日、東京都で「大曲の花火 感謝の集い」を開催しております。当日は、大会参加花火師や審査委員の皆様、花火文化芸術振興議員連盟の国会議員の皆様にご出席をいただき、大会の更なる躍進に向け意見を交わしております。

今後も、皆様からのご支援のもと、観る方すべてに夢と希望をお届けする日本最高峰の花火大会の一つとして、また、皆様から親しみ愛され、地域を元気にする地方創生の核として持続的に発展できますよう、

さらなる高みを目指してまいります。

次に、新型コロナウイルス感染症への対応についてであります。

ウイズコロナ下において社会経済活動が着実に動き出す中、新型コロナウイルスの新規感染者数は、10月中旬以降、北海道や東北を中心に増加傾向にあり、新たな波に入りつつあると指摘されております。

国では、こうした状況を受け、第8波に備えた新たな対応策を決定し、感染状況のレベルを5段階から4段階に見直しするとともに、地域の感染状況に応じて都道府県が住民を対象に外出自粛などを要請できる「医療ひっ迫防止対策強化宣言」に加え、医療逼迫の危険がある際に外出や移動の抑制を要請する「医療非常事態宣言」を創設しております。

これからウイルスの活動が活性化する冬季を迎えることや、年末年始にかけ会食の機会や人の移動が多くなり、感染の再拡大や季節性インフルエンザとの同時流行が懸念されております。

市民の皆様には、手洗いや手指消毒の徹底、場面に応じた適切なマスクの着用、こまめな換気など、引き続き基本的な感染防止対策に取り組んでいただくとともに、不安がある際には、市指定PCR検査所を活用いただくなど、「感染しない」「感染させない」行動を徹底していただきますよう、改めてご理解とご協力をお願いいたします。

ワクチンの追加接種につきましては、先般、オミクロン株対応型の

ワクチンが承認されたことを受け、大仙市では、いち早く従来型から切り替え、9月22日から集団接種会場において接種を行っております。

10月21日には政省令が一部改正され、最終接種からの接種間隔が3カ月に短縮されたことを受け、接種のスケジュールを2カ月前倒しで進めており、11月20日までに全市民の27.5%が接種を終え、年内には希望する方への追加接種が完了する見込みとなっております。

また、新たに対象となった生後6カ月から4歳児までの乳幼児へのワクチン接種については、大仙市健康福祉会館内に仙北市及び美郷町と共同で広域集団接種会場を設置し、11月19日に開始しております。

ワクチンは、ご自身の感染予防や重症化を防ぎ、医療提供体制を守るだけでなく、家族や友人など皆様にとって大切な人を守ることにもつながります。接種券がお手元に届いている方で希望される方は、できるだけ早期の接種についてご検討いただきますようお願いいたします。

次に、物価高騰への対応についてであります。

国際的な原材料価格の上昇や円安の進行を背景とした物価高騰は、いまだ収束の気配を見せず、依然として私たちの生活や地域経済に大きな影響を与えております。こうした状況を受け、国では、10月28日に「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」を決定し、エネルギーや食料品などの価格高騰対策をはじめ、多岐にわたる対策を講じ

ることとしております。

本市においても、国の臨時交付金等を活用しながら、先の市議会臨時会にて議決いただいた各種給付金について早期の支給に向けた準備を進めているほか、農業用肥料高騰対策支援給付金についても、11月22日現在、2,160件の申請を受け付けており、順次、支給してまいります。さらに、今般、追加対策として、周年農業に取り組む施設園芸農家に対し、燃料費の一部を支援したいと考えており、今次定例会に予算の補正をお願いしております。

今後も、現在実施している経済対策を着実に進めるとともに、国や県と歩調をあわせつつ、真に必要とされている方に迅速かつ確実に支援が届くよう、必要な対策を機動的・重点的に講じてまいります。

次に、主な部局ごとに諸般の報告を申し上げます。

はじめに、総務部関係についてであります。

国民保護法に基づく「令和4年度秋田県国民保護共同実働・図上訓練」が、11月17日、本市を会場に実施されております。訓練には、内閣官房をはじめ関係省庁や秋田県、警察や消防、医療機関など33機関から約400人が参加し、緊急対処事態の発生から避難行動までの一連の対応に係る訓練を行っております。

次に、企画部関係についてであります。

秋田新幹線新仙岩トンネルの整備促進につきましては、11月9日、秋田県と秋田新幹線新仙岩トンネル整備促進期成同盟会との共催により「秋田新幹線新仙岩トンネル整備促進大会」を開催しております。大会では、関係者約120人の出席のもと、2名の講師から講演をいただいたほか、関係者間の結束強化と沿線一体の機運醸成を図り、一日も早い整備の実現に向けた活動を展開していくことを旨とする大会宣言を行っております。また、11月21日には、国土交通省や財務省をはじめ、秋田・岩手両県選出国會議員に対し、トンネル整備の早期実現に向けた要望活動を行っております。

国内交流につきましては、新型コロナウイルスの感染状況や感染防止対策に配慮しながら、交流都市である宮古市、座間市及び宮崎市との交流事業を徐々に再開しております。このうち、宮古市との交流については、両市の絆を後世に伝える「友好交流都市協定締結記念碑」を丸子橋橋上公園に建立し、10月4日、<sup>やまもとまさのり</sup>山本正徳宮古市長のご出席のもと、除幕式を執り行っております。また、10月8日から3日間の日程で、宮古市、座間市及び本市の小学生が野球の試合を通じて交流を深めております。

「若者チャレンジ応援プロジェクト」につきましては、秋田大学との連携のもと、大曲高校商業科の3年生を対象に「大仙市の活性化」を



テーマとしたワークショップを開催しております。ワークショップでは、高校生の視点から地域の活性化や課題解決につながる様々なアイデアが提案されております。また、「市民向け連続セミナー」として11月18日に1回目のセミナーを開催し、64人が参加しております。セミナーでは、秋田大学教育文化学部の益満環<sup>ますみつたまき</sup>准教授を講師にお迎えし、「若者の活躍とローカルイノベーション」をテーマに講演をいただいたほか、高校生が考えた本市の活性化に関するアイデアを紹介しております。今後もこうした取組を通じて、若者が活躍できる機会の創出と、若者のチャレンジを応援する土壌づくりを進めてまいります。

次に、市民部関係についてであります。

地球温暖化対策につきましては、今年3月に表明した「大仙市ゼロカーボンシティ宣言」に基づく具体的な行動指針として「大仙市地球温暖化対策実行計画 区域施策編」の策定を進めております。現在、その基礎となる地域における再生可能エネルギーのポテンシャルや、将来のエネルギー消費量などに関する調査を行っており、今後、事業者や業界団体などの皆様と合意形成を図りながら、本市における再生可能エネルギーの導入目標を定めてまいりたいと考えております。

コロナ禍により2年ぶりの開催となった「安全安心推進集会」につきましては、10月13日、大曲市民会館小ホールを会場に開催しており

ます。交通安全、防犯、防災、青少年健全育成の各関係団体から106人の皆様に参加をいただき、8個人と1団体に対する功労者表彰を行ったほか、本市市民相談室の不当要求等対策指導員で元警視庁警視のささきえいじ佐々木栄二氏による講演を行っております。

次に、健康福祉部関係についてであります。

本市が重点施策として力を入れている子育て支援につきましては、この9月から市独自の制度として、新たに2歳児を対象とした保育料の無償化をスタートしております。これまで国の制度にあわせた「すこやか応援事業」により、副食費を含め3歳から5歳児までの保育料の無償化を行ってまいりましたが、核家族化や共働き世帯の増加など子育て環境の変化にあわせ、子育て世帯の負担軽減の要望に応える形で、今般、2歳児を対象に加えたものであります。現在進めている放課後児童クラブの充実とあわせ、多くの子育て世代が望む「仕事と子育ての両立」を後押ししてまいります。

「健幸まちづくりプロジェクト」につきましては、9月10日、本市と連携協定を締結する企業のご協力のもと、「大曲の花火」公園を会場に「健幸モーニングウォーク」を開催しております。当日は市民の皆様を中心に約400人が集まり、特別ゲストの長野オリンピック・スキージャンプ金メダリストのふなきかずよし船木和喜氏による講話やイベントブースを

楽しみながら、爽やかな朝のウォーキングを満喫しております。

また、4月から9月までの期間、新規参加者にクオカード1,000円分を交付する参加促進キャンペーンを展開してまいりましたが、その結果、新たに2,783人の皆様からの参加があり、これにより11月22日現在の総参加者数は24,624人、参加事業所数は364社となっております。

次に、農林部関係についてであります。

稲作につきましては、6月の日照不足や8月の長雨の影響により、秋田県の作況指数が「95」、県南が「97」のやや不良と発表されております。本年産米の概算金については、全国的に主食用米の需給均衡が図られたことなどから幾分上昇傾向を示しておりますが、燃料や肥料などの農業資材の高騰が続いており、農業を取り巻く環境は依然として厳しい状況となっております。今後も国や県、市の各種制度の活用や低コスト化への取組を促進しつつ、引き続き資材価格の動向を注視しながら、農業経営の安定化を支援してまいります。

「『農業と食』活性化推進事業」につきましては、今般の種苗交換会の開催にあわせ、10月31日、大曲市民会館小ホールを会場に「『農業と食』活性化シンポジウム」を開催し、生産者など延べ約550人の皆様に聴講いただいております。シンポジウムでは、農産物

の高付加価値化やスマート農業、直播栽培等省力栽培技術などに関する講演のほか、パネルディスカッションや事例発表などを行っております。

スマート農業につきましては、現在、農研機構東北農業研究センターとの連携により「水稻の無コーティング種子直播栽培実証」を進めておりますが、この実証に協力いただいている縁から、今般、株式会社クボタ及び株式会社秋田クボタとの間で「スマート農業連携協定」を締結する運びとしております。この協定に基づく取組として、令和5年6月からGPSを使ったスマート農機の共同実証事業を計画しており、位置情報を補正するRTK\*基地局を設置するための経費として、今次定例会に予算の補正をお願いしております。

次に、経済産業部関係についてであります。

「大仙市首都圏企業懇話会」につきましては、誘致企業の本社をはじめ本市に縁のある37社の企業関係者のほか、猿田秋田県副知事、後藤議長及び市議会産業建設常任委員会委員、市内商工団体など総勢63名の皆様に参加をいただき、11月21日、東京都において3年ぶりに開催しております。懇話会では、私から市政報告を申し上げるとともに、昨年8月、本市にBPOセンターを開設した株式会社エスプール代表取締役会長兼社長の浦上<sup>うらかみ</sup>壮平氏から講演をいただくなど、参加企業の先進的な取組に触れながら、活発な意見交換を行っております。

※RTK…「Real Time Kinematic」の略。GPS衛星等の位置情報を補正し、情報の精度を上げるための技術。

次に、観光文化スポーツ部関係についてであります。

J R 大曲駅に併設する大仙市観光情報センターにつきましては、利用者の利便性向上と機能の充実を図るため、1階ふれあい広場の改修に係る実施設計を進めてまいりましたが、今般、当該業務が完了したことから、今次定例会に改修工事に係る予算の補正をお願いしております。

「第42回全県500歳野球大会」につきましては、9月17日から21日までの5日間、神岡野球場を主会場に市内18会場で開催され、全県各地から181チームが出場しております。大会期間中は台風の影響が心配されましたが、順延もなく試合が行われ、大熱戦が繰り広げられた結果、秋田市の追分野球クラブが初優勝を飾っております。

次に、建設部関係についてであります。

「国道13号大曲・秋田間整備促進期成同盟会」並びに「地域高規格道路本荘大曲道路整備促進期成同盟会」につきましては、10月17日から11月16日までの間、国土交通省や財務省、秋田県選出国會議員、秋田県などに対し、集中的に要望活動を行っております。

また、これにあわせ、国が重点的かつ集中的に進めている「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」についても、計画的な事業執行や必要な予算と財源の確保、対策期間終了後における関連事業の継続実施に関して強く要望しております。

次に、教育委員会事務局関係についてであります。

「市民が主役の地域づくり講座」として、今年度から新たにスタートした「大仙アカデミー」につきましては、10月1日、大曲市民会館大ホールを会場に、約250人の市民の皆様のご来場のもと開催しております。記念すべき第1回目は、株式会社タニタの<sup>たにだせんり</sup>谷田千里代表取締役社長を講師にお迎えし、「大仙から世界の健康をつくる」と題し、企業と地域と行政が一体となってまちづくりを進めることの重要性や、自身が思い描くビジョンなどに関する貴重な講演をいただいております。今後も各界で活躍されているリーダーの皆様を講師にお迎えし、市民の皆様が主役の地域づくりに向けた有意義な機会にしていきたいと思います。

最後に、令和5年度の当初予算編成について申し上げます。

本市における今後の財政見通しにつきましては、コロナ禍の長期化に伴う地域経済への影響に加え、現下のウクライナ情勢や円安の進行によるエネルギー・原材料の価格高騰などを背景に、歳入の根幹をなす市税収入の見通しが不透明な状況にあるほか、国からの各種譲与税や普通交付税の減収が見込まれることなどから、一般財源不足による厳しい状況が続くものと懸念しております。

こうした見通しのもと、令和5年度当初予算は、「社会経済状況、市民ニーズの変化を踏まえた取組の推進」「将来にわたり持続可能な

行財政体制の確立」を基本方針に掲げ、感染対策や現下の物価高騰を踏まえた経済対策はもとより、「地方創生へのチャレンジ」や「企業誘致の強化と地元企業の振興」「新時代に向けた農業振興策の強化」など6つの重点施策を柱に、「総合的な子育て支援」や「農業と食に関する活性化基本構想」「企業団地整備」のほか、DXやカーボンニュートラルなど、未来への投資につながる取組に予算を優先的かつ積極的に配分してまいりたいと考えております。

さらに、持続可能な行財政運営の確立に向けた既存事業の徹底検証と見直しに加え、人口減少を見据えた公共施設の更新や統廃合、少子化を踏まえた学校規模の適正化など、本市の将来を展望し、今講じなければならぬ中長期的な視野に立った施策にも果敢に取り組んでまいりたいと考えており、職員一人ひとりが現下の財政状況を認識しつつ、その知見を結集し、行政経営の視点を持って「市民の皆様のWell-being<sup>※</sup>向上」と「次世代に誇れる大仙市の創造」につながる予算の編成に努めてまいります。

以上、諸般の状況をご報告申し上げましたが、今後とも、市民の皆様並びに議員各位のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げまして、市政の報告とさせていただきます。

※Well-being…心身だけでなく社会的にも満たされた幸福な状態。多面的かつ継続的な幸福。

別添

令和4年第4回大仙市議会定例会

## 市政報告（諸般の報告）

令和4年11月25日

大 仙 市



## 目 次

### 【企画部】

- 1 メディカル・サイエンスカフェ in 大仙について..... 1
- 2 友好交流都市との交流事業について..... 1

### 【健康福祉部】

- 3 大仙市戦没者追悼式及び第55回一般財団法人秋田県遺族連合会  
大仙市・仙北市・仙北郡戦没者遺族地方大会について..... 1
- 4 大仙市金婚式について..... 1
- 5 SOSの出し方に関する教育について..... 2

### 【農林部】

- 6 米の集荷状況について..... 2
- 7 園芸メガ団地について..... 2
- 8 大豆産地化推進事業について..... 2
- 9 水稲栽培の省力化・低コスト化について..... 2
- 10 水田リノベーション事業について..... 3
- 11 クマの出没状況について..... 3

### 【経済産業部】

- 12 市街地にぎわいイベントについて..... 3
- 13 花火師育成・確保支援事業について..... 3

### 【観光文化スポーツ部】

- 14 観光PRについて..... 4
- 15 文化財の保存・活用について..... 4
- 16 多目的人工芝グラウンド整備事業について..... 4
- 17 スポーツ合宿について..... 4
- 18 大仙市スポーツツーリズムコミッション設立記念事業について  
..... 4
- 19 スポーツイベントについて..... 5

【建設部】

20	中良野橋橋梁架替工事について	5
21	住宅リフォーム支援事業について	5

【教育委員会事務局】

22	心のプロジェクト「夢の教室」について	5
23	大仙市ふるさと探訪楽園ツアーについて	6
24	第39回東北将棋大会及び第17回大仙市民交流将棋大会について	6
25	「だいせん読書の日」関連イベントについて	6
26	大仙市音楽祭2022について	7

【上下水道局】

27	上水道事業について	7
28	簡易水道事業について	7
29	下水道事業について	7

【新型コロナウイルス経済対策】

30	経済対策 4月臨時会	7
31	経済対策 6月定例会	9
32	経済対策 9月定例会	9
33	経済対策 10月臨時会	10

## 【企画部】

### 1 メディカル・サイエンスカフェ in 大仙について

11月22日、花火伝統文化継承資料館はなび・アムを会場に、秋田大学との共催事業として「メディカル・サイエンスカフェ in 大仙」を開催しております。本事業は、本市と秋田大学の包括連携協定に基づく取組の一環として実施したもので、「人生100年時代の心も身体も生涯健幸のコツ」をテーマに、オンデマンド視聴も含め、県内外から40人を超える皆様が参加し、寛いだ雰囲気の中、消化器がんの克服やメンタルヘルスに関する講演が行われたほか、講師と参加者が自由に意見を交換しております。

### 2 友好交流都市との交流事業について

10月22日、有縁交流都市である宮崎市を訪問し、「第31回一ツ瀬川花火大会」に参加したほか、10月28日から30日までの間、同市で開催された「宮崎神宮大祭」に、佐藤副議長をはじめ議員各位のほか、今野副市長、さどわら会会員10名を含む24名が訪問し、本市を大いにPRしております。

また、11月13日には、友好交流都市である座間市において「第37回座間市民ふるさとまつり」が開催され、後藤議長をはじめ議員各位のほか、物産中仙株式会社、JA秋田おぼこの関係者など総勢19名が参加し、本市製品のPRと物販を行うとともに交流を深めております。

## 【健康福祉部】

### 3 大仙市戦没者追悼式及び第55回一般財団法人秋田県遺族連合会大仙市・仙北市・仙北郡戦没者遺族地方大会について

9月28日、大曲市民会館小ホールを会場に「大仙市戦没者追悼式」を開催し、戦没者遺族をはじめ関係者59名の参列のもと、戦没者を追悼するとともに平和への思いを新たにしております。

また、追悼式に引き続き「第55回一般財団法人秋田県遺族連合会大仙市・仙北市・仙北郡戦没者遺族地方大会」が開催され、関係者など87名が参加しております。

### 4 大仙市金婚式について

11月8日、大曲市民会館小ホールを会場に金婚式を開催し、申し込みのあった40組のご夫婦の結婚50周年を祝福しております。

## 5 SOSの出し方に関する教育について

小中学校の児童生徒が、自身が抱える不安や悩みを誰に相談し、どのように助けを求めたらよいのかを学習する機会として、16校を対象に「SOSの出し方に関する教育」を実施しており、常時携帯し活用できる、身近な相談先等を記載した「お守り型リーフレット」を配布しております。

### 【農林部】

## 6 米の集荷状況について

秋田おぼこ農業協同組合管内における令和4年産米の集荷数量につきましては、11月18日現在で61,775トンとなっており、昨年同時期と比較して5,663トンの減となっております。

また、今年度から本格的に栽培が開始された本県の新ブランド米「サキホコレ」につきましては、同管内において150名の農業者が生産した1,028トンが品質・出荷基準をクリアし、県内外に出荷されており、消費者から好評を得ていると伺っております。

## 7 園芸メガ団地について

中仙地域のトマトにつきましては、11月15日をもって今年の収穫を終えております。6月の低温に加え、7月から8月にかけての天候不順による落花や生育不良が影響し、出荷量は前年に比べ2割弱減少していると伺っております。

大曲地域内小友地区のネギにつきましては、11月23日に収穫をすべて終えており、10月25日時点の収量は、44.7トンと伺っております。今後も、安定した収量の確保に向け、関係機関と連携を図りながら、引き続き支援してまいります。

## 8 大豆産地化推進事業について

本年産大豆の作況につきましては、6月の低温や7月下旬の開花期以降の長雨の影響により子実が小さめで、大粒の割合は5割程度と例年より2割程度低くなっており、収量は平年以下になる見通しと伺っております。

## 9 水稲栽培の省力化・低コスト化について

農研機構東北農業研究センターとの連携のもと、仙北地域で行われている水稲の直播栽培と、水田管理システムを組み合わせた実証栽培

につきましては、今年の作業がすべて終了し、10アールあたりの単収は、525キログラムと昨年を下回りましたが、移植栽培とほぼ同程度となっております。今後、直播栽培に携わる農業者を対象に、実証栽培の結果について報告会を開催する予定としております。

#### 10 水田リノベーション事業について

主食用米からの作付け転換を促進し、新市場開拓を目指す国の「水田リノベーション事業」につきましては、市農業再生協議会に対して1,210件分が配分されておりますが、交付単価の減額により、交付額は昨年度より約1億4千万円少ない8億8,685千円となっております。年内に各農業者に交付される予定となっております。

#### 11 クマの出没状況について

11月24日現在、市内でのクマの目撃件数は昨年より16件少ない71件、捕獲頭数は14頭少ない25頭となっております。これから冬眠の時期に入りますが、引き続き注意喚起に努めてまいります。

#### 【経済産業部】

#### 12 市街地にぎわいイベントについて

第145回秋田県種苗交換会の開催にあわせ、10月29日と30日の両日、大曲ヒカリオ・イベント広場を会場に「市街地にぎわいイベント」を開催しております。イベントでは、地元アーティストによるストリートライブ形式の演奏やダンスパフォーマンスのほか、飲食や物販など本市の魅力を詰め込んだイベントとなり、多くの来場者で大いににぎわいました。

#### 13 花火師育成・確保支援事業について

花火産業構想に掲げる施策の一つである「花火を支える人材育成・研究開発の場の創出」の一環として、8月29日、公益社団法人日本煙火協会から講師を招聘し、丙種製造・甲種取扱保安責任者資格に関する資格取得支援講座を開催しており、7名の花火師が参加しております。

## 【観光文化スポーツ部】

### 14 観光PRについて

7月から9月にかけて開催されたJR東日本主催の「北東北三県大型観光キャンペーン」にあわせ、本市では、「明治の秋田三大地主旧本郷家住宅特別公開」を実施しております。特別公開では、普段非公開としているエリアを公開し、訪れた皆様から大変好評をいただいております。期間中は「角間川旧三家ライトアップ」も実施しており、合計354人が来場しております。

また、9月20日には、日本テレビの人気番組「満点☆青空レストラン」の大仙市産「サキホコレ」をテーマとした撮影が太田地域を中心に行われ、10月1日に同番組で放送されております。

### 15 文化財の保存・活用について

10月11日、「角間川ふるさと体験ワークショップ」を開催しております。小学生と保護者あわせて44人が参加し、旧本郷家住宅での宝探しやクイズラリーなどを楽しんでおります。

また、10月22日に開催された国の文化審議会において、内小友地区の佐藤家住宅（主屋・文庫蔵・味噌蔵・米蔵および検査所・大工小屋）を重要文化財に指定する答申がなされており、年内に答申どおり告示される予定と伺っております。

### 16 多目的人工芝グラウンド整備事業について

スポーツを通じた地方創生や市民の皆様の健康増進に資する拠点となる「多目的人工芝グラウンド整備事業」につきましては、令和5年7月の供用開始に向け、各種工事が概ね順調に進捗しております。

### 17 スポーツ合宿について

スポーツ合宿につきましては、首都圏の大学を中心に、3団体、延べ1,146人が市内宿泊施設を利用して合宿を行っております。

### 18 大仙市スポーツツーリズムコミッション設立記念事業について

コロナ禍で開催を見送っていた「大仙市スポーツツーリズムコミッション設立記念事業」につきましては、感染対策に万全を期したうえで、10月10日に開催しております。記念事業では、仙北ふれあい文化センターを会場に、講演会やシンポジウムを行ったほか、ふれあい体育館でバスケットボールクリニックを実施し、延べ242人に

参加いただいております。

## 19 スポーツイベントについて

10月15日から2日間、秋田県が主催する「25市町村対抗駅伝大会」が、仙北市を会場に3年ぶりに開催されております。ゴールとなる大曲支援学校せんぼく校を目指し、爽やかな秋晴れのもと、33kmのコースを選手9名が襷をつなぎ、本市は全体で8位の成績を収めております。

また、11月19日と20日の両日、神岡地域の嶽ドームを会場に、一般財団法人世界少年野球推進財団の主催で「親子で体験！WCBFわくわく野球教室」が開催されております。市内の4歳と5歳児の親子が参加し、野球の楽しさを感じていただいております。

明日26日には、株式会社楽天野球団とのパートナー協定に基づく事業の一環として、嶽ドームを会場に、楽天イーグルスアカデミーコーチ2名を講師に迎え、市内スポーツ少年団員を対象とした「楽天イーグルス野球教室」を開催する予定としております。

### 【建設部】

## 20 中良野橋橋梁架替工事について

秋田県が実施している福部内川の河川改良事業にあわせ、県と市との基本協定に基づき、令和3年度から県が進めてきた市道変電所松ノ木線に架かる「中良野橋橋梁架替工事」につきましては、令和5年3月中の完成に向け工事が進捗していると伺っております。

## 21 住宅リフォーム支援事業について

住宅の機能性向上を目的とした「住宅リフォーム支援事業」につきましては、本年度、補助対象となる工事内容や工事金額、5年度経過ごとに再申請を可能とする要件の見直しを行っております。11月21日時点で329件の交付決定を行い、56,552千円の補助金を交付しております。

### 【教育委員会事務局】

## 22 心のプロジェクト「夢の教室」について

スポーツや芸術など様々な分野の第一線で活躍している方々を、「夢の先生」として小中学校にお招きする「こころのプロジェクト『夢の教室』」につきましては、10月4日と21日の両日、秋田県

出身のプロ冒険家である阿部雅龍氏を太田中学校に、北都銀行バドミントン部の選手を平和中学校にそれぞれお招きし、開講しております。夢の先生の体験談や一流のプレーを見聞きすることで、自分の夢をもつこと、夢の実現に向けて努力することの大切さを理解する機会となっております。

## 23 大仙市ふるさと探訪楽園ツアーについて

地域資源に対する学習意欲のさらなる向上を目指す「大仙市ふるさと探訪楽園ツアー」につきましては、7月に続き秋のツアーを開催しております。今回のツアーでは、9月24日の施設探訪を皮切りに、お仕事探訪、大仙まるごと探訪など6コースのメニューで実施しており、夏と秋をあわせて125人が参加しております。地域資源を巡りながら、ふるさとの魅力を再認識するとともに、健幸まちづくりプロジェクトや、ふるさと博士育成事業と連携した取組により、健康づくりや地域への理解を深める機会となっております。

## 24 第39回東北将棋大会及び第17回大仙市民交流将棋大会について

11月13日、西仙北ぬく森温泉ユメリアを会場に、「第39回東北将棋大会」及び「第17回大仙市民交流将棋大会」が開催されております。日本将棋連盟に所属するプロ棋士2名と、日本女子プロ将棋協会に所属する女流棋士1名を招待し、東北各地の実力者同士による名人戦をはじめ、実力に応じたクラスごとの対戦を通じて交流を深めております。

また、本大会の前日イベントとして、花火伝統文化継承資料館はなび・アムを会場に、「大仙市小学生将棋対抗戦」が開催され、小学生31人が熱戦を繰り広げたほか、放課後児童クラブを利用する児童を対象とした「子ども将棋講習会」も実施し、将来を担う子供たちが将棋の魅力に触れております。

## 25 「だいせん読書の日」関連イベントについて

11月3日の「だいせん読書の日」に関連するイベントとして、10月から11月にかけて、本をあげたい方とほしい方をつなぐ「ワンボックスライブラリー」を大曲図書館において開催したほか、昨年度に引き続き、各図書館において、市内の小学生から募集した「わたしのおすすめ本」に寄せられた作品の展示などを行っております。



## 26 大仙市音楽祭2022について

11月12日と13日の両日、大曲市民会館を会場に「大仙市音楽祭2022」を開催しております。初日は、市内の児童生徒等による発表会をはじめ、幅広い世代の愛好者による音楽会、横濱音泉倶楽部による「市民のためのジャズコンサート」を行っております。2日目には、「0歳からのジャズコンサート」に続き、中学生・高校生へのクリニック（講習会）を実施しており、多くの方々から参加いただいております。

### 【上下水道局】

## 27 上水道事業について

老朽化した配水管の改良工事につきましては、10月14日に大曲浜町、11月18日に大曲あけぼの町の工事を終えております。

また、藤木下橋及び館の橋の上水道添架管支持金物更新工事につきましては、10月7日に発注を終えております。

## 28 簡易水道事業について

大曲地域の松倉地区及び内小友中山地区の水道未普及地域解消事業につきましては、12月中旬に中山地区、1月中旬に松倉地区の完成に向け、順調に進捗しております。

また、協和南部地区の配水管更新事業につきましても、12月下旬の完成に向け、順調に進捗しております。

## 29 下水道事業について

神岡東部処理区の流域下水道への接続関連工事につきましては、12月中旬の完成を予定しております。

また、西仙北地域の川里地区農業集落排水施設における改修工事につきましては、屋根改修工事が12月上旬に、防水・防食工事が1月下旬に、電気設備改修工事及び機械設備改修工事が3月中旬にそれぞれ完成する予定であります。

### 【新型コロナウイルス経済対策】

## 30 経済対策 4月臨時会

### (1) 飲食店等経営支援事業

市内に事業所を有する令和元年の売上額120万円以上の個人事業主または中小企業で、令和3年の売上額（法人は直近決算期の

売上額)が令和元年比で20%以上減少した事業者に対し、1事業所あたり20万円を給付するもので、6月30日に受付を終了し、251件の申請を受け付け、5,020万円を給付しております。

## (2) 酒蔵支援事業

市内に酒蔵を有する事業所に対し100万円を給付するもので、6月30日に受付を終了し、8件の申請を受け付け、800万円を給付しております。

## (3) 宴会場施設運営支援事業

大人数での利用が可能な宴会場を所有する事業所に対し、年間売上額と売上額の減少率に応じて支援を行うもので、6月10日に受付を終了し、15件の申請を受け付け、1,240万円を給付しております。

## (4) コンベンション施設運営支援事業

大規模なイベント開催用複合施設を運営する事業所に対し、会議場の面積に応じて支援を行うもので、6月30日に受付を終了し、6件の申請を受け付け、5,131万3千円を給付しております。

## (5) 宿泊業等支援事業

令和3年12月から令和4年2月までのいずれかの月の売上額が、令和元年同月比で20%以上減少した宿泊事業者に対し、収容定員と利用者数に応じて支援を行うもので、6月30日に受付を終了し、14件の申請を受け付け、780万円を支給しております。

## (6) 観光交通事業者支援事業

市内の貸切観光バス、タクシー及び自動車運転代行業者に対し、車両規模に応じて支援を行うもので、6月30日に受付を終了し、29件の申請を受け付け、1,091万円を支給しております。

## (7) 「全国へ届け大仙の味～夏の陣～」特産品発送支援事業

本市特産品の販売を促進することで消費を喚起し、販路拡大につながることを目的に特産品の送料助成を行うもので、35事業所6,338件、538万9千円を支援しております。また、12月には、「全国へ届け大仙の味～冬の陣～」特産品発送支援事業を

開始する予定としております。

### 31 経済対策 6月定例会

#### (1) プレミアム付地域商品券発行事業

市内における消費を喚起し、地域経済の発展と商業の振興を図るため、プレミアム率40%の地域商品券を発行するもので、10月31日に販売を終了しており、販売率は64.2%で、約7億円分の商品券を購入いただいております。

売れ残った商品券につきましては、さらなる地域経済の活性化につなげるため、抽選による再販売を進めており、11月7日から25日までの期間で希望者を募集しております。

#### (2) テナント事業者支援給付金事業

市内において事業所を借りて家賃を支払っている個人事業主または中小企業で、令和元年の売上額が120万円以上あり、令和3年の売上額（法人は直近決算期の売上額）と比較して20%以上減少した事業者に対し、直近支払い家賃の1.5か月分を給付するもので、7月29日に受付を終了し、110件の申請を受け付け、1,416万7千円を給付しております。

#### (3) 住民税非課税世帯等への臨時特別給付金支給事業

令和3年度及び令和4年度の住民税非課税世帯等に対し、1世帯あたり10万円を支給するもので、10月31日に受付を終了し、対象となる9,703世帯のうち、94.9%にあたる9,209世帯に対し、給付を完了しております。

#### (4) 子育て世帯生活支援特別給付金支給事業

児童扶養手当受給世帯または住民税非課税世帯等に対し、児童1人あたり5万円を支給するもので、11月15日時点で、児童1,351人分を支給しております。

### 32 経済対策 9月定例会

#### (1) 貨物自動車運送事業者支援給付事業

秋田県が実施する「秋田県トラック運送燃料高騰緊急支援金」の交付決定を受けた対象事業者に対し、車両の種類と走行距離に応じて支援を行うもので、11月11日に受付を終了し、36件の申請

を受け付け、14,520千円を支給しております。

### 33 経済対策 10月臨時会

#### (1) 電力・ガス・食料品等価格高騰対策緊急支援事業

令和4年度住民税非課税世帯等に対し1世帯あたり6万円、家計急変世帯に対し5万円を支給するもので、本日、対象となる8,664世帯に申請書類を送付しております。

#### (2) 住民税均等割のみ課税世帯への支援事業

住民税は課税されているものの、比較的所得の低い住民税均等割のみの課税世帯に対し、1世帯あたり5万円を支給するもので、12月1日に申請の受付を開始する予定としております。

#### (3) 在宅重度障がい者（児）介護世帯への支援事業

特別障害者手当等の受給者を介護している世帯に対し、受給者1人につき5万円を給付するもので、対象となる431人に対し、今月中に給付を完了する予定であります。

#### (4) 在宅高齢者等介護世帯への支援事業

同居する要介護高齢者を介護している世帯に対し、1人あたり5万円を給付するもので、対象となる54世帯に対し、今月中に給付を完了する予定であります。

#### (5) 農業用肥料高騰対策支援事業

令和4年7月1日現在、市内に住所または事業所を有し、令和4年度にJA等への販売実績があり、次年度以降も営農継続の意思があること等の要件を満たす農業経営体に対し、作目ごとに面積に応じて給付金を支給するもので、11月22日時点で2,160件の申請を受け付けており、順次、支給してまいります。